

海外邦人安全対策情報(平成27年1月～3月(平成26年度第4四半期))

1. 社会・治安情勢

(1)3月26日以降イエメン全土に対し、ハーディ大統領の要請を受けたサウジアラビア主導の有志連合国による軍事作戦が開始されました。ホーシー派が占拠した軍事施設を中心に空爆が実施され、民間人の巻き添えを含む多くの死傷者が発生しています。ベイダ県、ラヘジ県、タイズ県、イップ県等イエメン中部をはじめとする各地では、ホーシー派民兵と抵抗勢力による激しい戦闘が発生し、これらの影響により、電気、燃料、水、食料等ライフラインの供給が停滞し、市民生活は困窮しています。3月末現在、イエメンを発着する民間航空路線や国際船舶航路は全て運航が中断され、事実上イエメンへの出入国手段は遮断されています。

(2)ホーシー派は1月にサヌア市内の大統領宮殿等を攻撃し、ハーディ大統領はじめ閣僚を軟禁状態に置いたことを契機にハーディ大統領及びバハーハ内閣を辞意表明に追い込み、2月にはホーシー派が現行議会の解散や大統領評議会設置等の内容を含む「憲法宣言」を一方的に発出し、政治情勢が更に緊迫化しました。同月、ハーディ大統領はアデンへ脱出し、辞意を撤回するとともに大統領としての活動を再開させましたが、ホーシー派がアデンの大統領宮殿への攻撃を実施したことなどから、3月下旬国外へ脱出しました。

(3)上記のような政治・治安情勢の流動化に伴い、在サヌアの外国公館の多くが一時的閉館し、多くのイエメン在留外国人が国外へ退避しました。

(4)一方、「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP)は、引き続きイエメン各地で政府、軍、治安関係施設へのテロ・襲撃を行っており、AQAPは、1月7日サヌア市内警察学校前において、自動車爆弾を用いたテロを実行し、同校に願書出願に訪れていた若者等145名以上が死傷しました。また、3月20日には、サヌア市内のホーシー派が集まるシーア派系モスク2か所で自爆テロが発生し、「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)が犯行声明を出しました。

(5)イエメンでは外国人を対象とした誘拐・襲撃事件が頻発しており、2月24日には、サヌア市内でフランス人女性専門家が武装集団に誘拐されました。外国人誘拐にはAQAPが深く関与しており、高度な警戒が必要です。また、国内各地で爆発物を用いた襲撃、強盗、誘拐等の犯罪が頻発しており、移動中などに同犯罪に巻き込まれる可能性も極めて高くなっています。

(6)なお、2014年1月以降の主な外国人襲撃・誘拐事件発生状況は以下のとおりです。

2014年

1月18日 イラン人外交官殺害事件(サヌア市)

1月31日 ドイツ人留学生誘拐事件(サヌア市)

2月 3日 イギリス人会社員誘拐事件(サヌア市)

2月12日 イギリス人教師誘拐事件(サヌア市)

2月22日 チェコ人医師誘拐事件(サヌア市)

2月28日 オーストラリア人国連専門家誘拐未遂事件(サヌア市)

3月17日 ロシア人医師誘拐未遂事件(マアリブ県)

3月25日 イタリア人国連職員誘拐事件(サヌア市)

4月10日 ウズベキスタン人医師誘拐事件(マアリブ県)

4月24日 アメリカ人誘拐未遂事件(サヌア市)

4月28日 ドイツ人外交官襲撃事件(サヌア市)

5月 5日 フランス人殺害・襲撃事件(サヌア市)

5月26日 インド人及びイラク人誘拐事件(マアリブ県)

6月 8日 米国人及びサウジ人技術者誘拐事件(マアリブ県)

6月21日 ロシア人女性医師誘拐未遂事件(タイズ県)

10月29日 ウズベキスタン人女性医師誘拐事件(マアリブ県)

11月下旬 米国人専門家誘拐事件(ラヘジュ県)

12月1日 シリア人看護師誘拐事件(マアリブ県)

2015年

2月24日 フランス人女性専門家誘拐事件(サヌア市内)

2. テロ・爆弾事件等発生状況(平成27年1月～3月)

(1)1月1日アビヤン県ジンジバル市で、人民委員会幹部の車に何者かが取り付けた爆発物により4人が負傷しました。

(2)1月1日ダーリウ県の複数地域で、爆発物処理班により6つの爆発物が処理されました。

(3)1月2日最高裁判事ムハンマド・マハディ・アル＝ライミが同人自宅にホーシー派のステッカーを貼ることを拒否したところ、ホーシー派民兵が同自宅を襲撃(判事の警護員3人負傷、その他2名がどこかへ連れ去られた)しました。

(4)1月2日サヌア市内の警察署で、爆発物が発見されましたが、未然に処理されました。

(5)1月2日イップ県イップ市スフル地区で、ホーシー派人民委員会の検問所を武装集団が襲撃(ホーシー派2人死亡、1人負傷)しました。

(6)1月3日タイズ県タイズ市で、市民がホーシー派のステッカーを自宅に貼られるのを拒んだところ、同日夕刻、ホーシー派とみられる武装集団に射殺されました。

(7)1月3日シャブワ県アル＝サイド郡ダラア地区で、軍検問所をAQAPとみられる武装集団が襲撃(軍人1人死亡、2人負傷)されました。

(8)1月3日ハドラマウト県セイユーン市で、交通警察ハーイル・ファドル将校が刑事捜査局から出たところAQAPとみられるバイクに乗った2人組に銃撃され死亡しました。

(9)1月4日ダマール県ダマール市で、ワハダ女子校付近に不審物があるとの通報を受け、人民委員会が現場に駆けつけ処理を試みましたが、爆発により被害(記者1人、人民委員会のメンバー5人死亡、その他34人負傷)がありました。

(10)1月4日ハドラマウト県ガイル・バーワジュール市で、AQAPとみられる武装集団が郵便

局を襲撃しました。

(11) 1月5日サヌア市クツバ・ハドラー地区で、AQAPが仕掛けた爆発物により被害(6人負傷、サラハッディーン学校を含む付近の建物が損壊)がありました。

(12) 1月5日マアリブ県アール・ミシュアル地区で、武装集団が石油パイプラインを爆破しました。

(13) 1月5日ダーリウ県ダーリウ市ジュムルク地区の第33機甲旅団の基地に通じる公道で爆発物が爆発し、武装集団が同基地を襲撃しました。

(14) 1月6日マアリブ県で、部族系武装集団が石油パイプラインを爆破しました。

(15) 1月6日ベイダ県で、武装集団がGPC幹部と同幹部の息子2人及び警護員3人を殺害しました。

(16) 1月6日タイズ県の部族が、イエメン赤新月社の職員5人(内2人女性)を8時間拘束した後解放しました。

(17) 1月6日ラヘジュ県ヤーファ郡で、武装集団が市民3人を殺害しました。

(18) 1月6日ハッジヤ県アバス郡で、武装集団が両替所を襲撃しました。

(19) 1月6日ハドラマウト県ムカッラ市で、商業銀行の車を武装集団が襲撃しました。

(20) 1月6日サヌア市シュウーブ地区及びハッダ地区で、警察がホーシー派人民委員会の協力を得てアル・カーイダへの関与容疑でソマリア人を含む7人を逮捕しました。

(21) 1月7日ハドラマウト県シバーム市で、第1軍区所属第37機甲旅団が自動車爆弾を摘発(テロリスト5人逮捕)しました。

(22) 1月7日サヌア市内警察学校前で、AQAPが自動車爆弾を用いたテロ攻撃を実行。(45人以上死亡、100人以上負傷)しました。

(23) 1月12日サヌア市内国家治安総局の建物付近で、爆発物(TNT200グラム)を発見しました。

(24) 1月12日イッブ県アル＝ザハール郡で、バイクに乗った武装集団が車で通勤途上の同県計画統計局長のアッバース・アハマド・アル＝マグリビー大佐を射殺しました。

(25) 1月12日タイズ県タイズ市で、車に乗った武装集団が同県イスラーハ党支部法務局長アリー・マンスーブの車を襲撃(同局長に被害なし)しました。

(26) 1月12日タイズ県タイズ市で、武装集団が「5月22日警察署」副署長を襲撃(同副署長は頭部を負傷)しました。

(27) 1月12日タイズ県タイズ市で、何者かが手りゅう弾を民家に投げ、爆発(死傷者なし)させました。

(28) 1月12日ダマール県ダマール市で、何者かが手りゅう弾を民家に投げ爆発(死傷者なし)させました。

(29) 1月13日サヌア県サーフィヤ郡サウラ警察署で、収監されていた3名が脱走(うち1名はAQAP関係者)しました。

(30) 1月13日ラヘジュ県フータ市で同県警察署副署長の車をAQAPが襲撃(副署長に被害

なし)しました。

(31) 1月13日ラヘジュ県警察が11日に同県政府系施設を襲撃した容疑でAQAPとみられる2名を逮捕しました。

(32) 1月13日ダマール県マアバル市ダウラーン地区で、バイクに乗った武装集団が同地区のGPC幹部アブドルラキーブ・アブドゥラー・アル＝ウィサービを射殺しました。

(33) 1月14日AQAPが仏週刊紙シャルリー・エブド本社襲撃事件に関するビデオ声明をインターネット上に発表しました。

(34) 1月14日数十人の武装集団がサヌア市内の能力開発基金建物に銃を持って侵入しました。

(35) 1月14日ハドラマウト県ムカッラ市で、犯罪捜査局の将校がオートバイに乗ったAQAP分子とみられる者に銃撃され負傷しました。

(36) 1月14日アビヤン県ジンジバル市で、13日夜に同県人民委員会メンバーを暗殺したとされるテロ細胞6名を逮捕しました。

(37) 1月14日ダマール県文化センターに仕掛けられたIEDを第7軍管区の爆発物専門家が処理しました。

(38) 2月24日サヌア市西部で、ホーシー派がスパーハ軍事基地を重火器や戦車等で攻撃。約6時間に及ぶ特別部隊との戦闘後、ホーシー派が同基地を制圧しました。(双方合わせて10～15名の死傷者が発生)

(39) 2月25日ホデイダ県で、ホーシー派が沿岸警備隊の軍事基地を攻撃。(兵士2人死亡、10人負傷) ホーシー派は戦車、装甲車を含む重火器を制圧しました。

(40) 2月26日ラヘジュ県フータ市で、AQAPが巡回中の軍車両を銃撃しました。(兵士4人死亡)

(41) 2月28日ラヘジ県ラドファーン郡で、南部運動勢力が待伏せ攻撃しました。(兵士9人負傷)

(42) 3月2日ベイダ県ズィ・ナーイム郡ティヤーブ地区で、AQAP・部族勢力とホーシー派の間で激しい戦闘が発生しました。

(43) 3月2日ハッジャ県キシウル郡で、身元不明の遺体の下に設置された地雷が爆発(6人死亡、7人負傷)しました。

(44) 3月3日ハドラマウト県クトウン郡で、IED が爆発(第135歩兵旅団の兵士3人死亡、2人負傷)しました。

(45) 3月3日ベイダ県ナーティジュ市で、自動車爆弾が爆発(死傷者発生)しました。

(46) 3月3日ベイダ県ザーヒル市で、ホーシー派を狙った爆発が発生しました。

(47) 3月4日ラヘジ県フータ市で、AQAPが国軍基地を攻撃し戦闘が発生しました。

(48) 3月4日ベイダ県ザーヒル郡で、ホーシー派の巡回を狙った爆発が発生(1人死亡、2人負傷)しました。

(49) 3月4日シャブワ県アスィラーン地区のジャンナ油田及びマアリブ県サーフィル製油所と

同油田を結ぶパイプラインを部族勢力が爆破されました。

(50) 3月5日シャブワ県バルハーフ地区で、天然ガス輸出施設付近にロケット弾が着弾(犯人不明、被害なし)しました。

(51) 3月5日ハドラマウト県ムカッラ市で、軍のパトロールを狙ったIEDが爆発(少なくとも兵士2人負傷)しました。

(52) 3月5日タイズ県タイズ市で、何者かがゴミ箱に投げ込んだ爆弾が爆発(3人軽傷)しました。

(53) 3月6日ラヘジ県フータ市で、AQAP分子と見られる武装勢力2名が治安要員1人を殺害しました。

(54) 3月8日ラヘジ県フータ市で、アル・カーイダ分子と見られる武装集団が治安要員1人を殺害しました。

(55) 3月9日及び10日アデン特別治安部隊基地周辺及びアデン国際空港周辺で、特別治安部隊と人民委員会(ハーディ大統領派)の間で激しい衝突が発生しました。

(56) 3月8日マアリブ県南部で、アール・マルワン部族とホーシー派を支持するアシュラーフ部族との間で武力衝突(4人死亡、4人負傷)がありました。

(57) 3月8日ベイダ県ズィ・ナーイム郡で、アル・カーイダ及び部族勢力がホーシー派を攻撃(12人死亡)しました。

(58) 3月8日ベイダ県ザーヒル郡で、アル・カーイダ及び部族勢力がホーシー派の車両を攻撃(8人死亡)しました。

(59) 3月9日アビヤン県マフファド郡で、第39機甲師団の軍事拠点をアル・カーイダが攻撃(兵士4人死亡、複数負傷)しました。

(60) 3月9日タイズ県マーウィヤ郡で、武装集団が郡の治安当局高官アハマド・アハワルを殺害(随行者2人負傷)しました。

(61) 3月9日ベイダ県ガイファ地区で、アル・カーイダとホーシー派の戦闘が発生(7人死傷)しました。

(62) 3月9日アムラン県ハムル郡で、ムハルハル基地の制圧を試みたホーシー派と軍の間で戦闘が発生しました。

(63) 3月10日ラヘジ県フータ市で、武装集団が郵便局を警備していた兵士3人に発砲し殺害しました。

(64) 3月10日ハドラマウト県クトウン郡で、バイクに乗った2人組の男が警官1人を銃殺しました。

(65) 3月10日アデンのシェイフ・オスマン地区で、武装集団が政治治安総局高官のハーディ大佐を自宅前で殺害しました。

(66) 3月12日アデン県で、南部運動及び人民委員会の民兵が第20軍事キャンプの正門を制圧しましたが、同日朝、特別治安部隊が奪還(特別治安部隊側2人死亡、人民委員会側1人負傷)しました。

- (67)3月11日ベイダ県ベイダ市で、何者かが治安当局の警備要員に発砲(ホーシー派人民委員会の兵士2人負傷)しました。
- (68)3月11日ホデイダ県バージル市で、AQAP分子1名が検問所を襲撃(同分子が死亡、兵士2人負傷)しました。
- (69)3月12日ベイダ県ベイダ市で、車に仕掛けられたIEDが爆発(部族長1人死亡)しました。
- (70)3月12日ベイダ県ゾーブ郡及びラダーア市でAQAPが治安関係施設を攻撃(12人死亡)しました。
- (71)3月13日ベイダ県シャルヤ郡で、AQAPがホーシー派が拠点とする同郡の治安当局事務所を攻撃(兵士1人を含む4人死亡)しました。
- (72)3月13日ハドラマウト県シバーム郡で、武装勢力が同郡治安責任者の警備要員1人を殺害しました。
- (73)3月14日アデン・クレーター地区のイシュリーン軍事キャンプ周辺で、アデン特別治安部隊と南部運動民兵の衝突が発生(死傷者情報なし)しました。
- (74)3月14日ダーリウ県ダーリウ市で、第33機甲師団と南部運動の衝突が発生(死者なし)しました。
- (75)3月15日アビヤン県ラウダル郡の115旅団軍事キャンプ付近でIEDが2度爆発(死傷者なし)しました。
- (76)3月16日ダーレウ県33機甲師団のカシャーア及びジュムルクの拠点で、軍と南部運動民兵の衝突が発生(兵士2人負傷)しました。
- (77)3月16日サヌア市内で、ホーシー派幹部のアブドルムイン・シャリーフの自動車に仕掛けられたIEDが爆発(同人無事)しました。
- (78)3月16日ベイダ県ズィ・ナーイム郡で、AQAPが複数のホーシー派拠点を攻撃しました。
- (79)3月17日イップ市の自動車展示場で2発のIEDが爆発(車6台焼損)しました。
- (80)3月17日ベイダ県ガイファで、AQAP分子とホーシー派民兵の衝突により死傷者が発生しました。
- (81)3月18日サヌア市ハーイル通りで、バイクに乗った2人組の男が記者兼人権活動家のアブドルカリーム・ハイワーニを同人の自宅前で銃殺しました。
- (82)3月18日イップ県アル・カーイダ市で、身元不明の武装集団がホーシー派判事の自宅を爆弾で襲撃(同判事は無事)しました。
- (83)3月18日ラヘジ県ラドファーン郡で、軍と南部運動民兵の間で衝突が発生しました。
- (84)3月18日アデンのマアラ地区で、特別治安部隊と人民委員会(ハーディ大統領派)の衝突が発生しました。
- (85)3月18日ベイダ県ベイダ市で、AQAP分子と見られる武装集団が、軍事情報当局の高官1人を殺害しました。

- (86) 3月18日ベイダ県シャルヤ地区で、ホーシー派民兵と部族勢力との衝突が発生し、死傷者が発生しました。
- (87) 3月18日ベイダ県ガイファ地区ゾーブで、AQAP・部族勢力がホーシー派拠点を2度にわたって攻撃。死傷者が発生しました。
- (88) 3月18日ベイダ県カルシヤ郡の治安当局の建物付近でイエメン人2人が自爆(少なくとも兵士1人死亡、複数負傷、治安当局はソマリア国籍の3人目の男を逮捕)しました。
- (89) 3月18日内務省はサヌア市内で治安機関がIED7個を処理したと発表しました。
- (90) 3月18日ハドラマウト県クトウン市で、武装集団が第137旅団所属の兵士1人を殺害しました。
- (91) 3月19日マアリブ県及びベイダ県の境界付近にあるカーニヤ地区で、戦闘が発生(ホーシー派側10人、部族勢力側2人死亡)しました。
- (92) 3月19日早朝アデン国際空港周辺地域で、特別治安部隊と人民委員会の間で、重火器等を用いた激しい戦闘が発生(特別治安部隊3人死亡、人民委員会1人死亡、数十人負傷)しました。
- (93) 3月20日シャブワ県マフラク・サイドで、武装集団が石油パイプラインを爆破しました。
- (94) 3月20日ホーシー派が拠点とするサヌア市内のモスク2か所で、金曜礼拝を狙った同時自爆テロが発生(20日午後8時時点で137人死亡、357人負傷)しました。
- (95) 3月20日武装勢力がラヘジ県フータ市を制圧しました。
- (96) 3月20日、タイズ県タイズ市にホーシー派民兵が展開しました。
- (97) 3月22日マアリブ県及びベイダ県の境界付近にあるカーニヤ地区で、戦闘が発生(ホーシー派民兵35名死亡)しました。
- (98) 3月24日、ホーシー派民兵がラヘジ県カラシュ市を制圧しました。
- (99) 3月24日、マアリブ県とベイダ県の県境付近の山岳地帯で、ホーシー派民兵とイスラーム党民兵の戦闘により、22名以上が死亡しました。
- (100) 3月26日アデンで、人民委員会(ハーディ大統領派)がバドル軍事キャンプを制圧、同日昼人民委員会は第39機甲旅団が制圧したアデン空港を奪還(双方死傷者)しました。
- (101) 3月27日アデン県ジャバル・ハディードにある国軍所有の武器庫で、民兵及び住民による大規模な略奪行為が発生しました。
- (102) 3月27日ラヘジ県で発生した複数の戦闘で計23名のホーシー派民兵が死亡しました。
- (103) 3月28日ラヘジ県フータ、アビヤン県シャクラ、ジンジバル及びベイハーンで、人民委員会(ハーディ大統領派)とホーシー派の間で激しい衝突(死傷者多数)がありました。
- (104) 3月29日人民委員会(ハーディ大統領派)が、アデンのダール・サアド地区への侵入を試みたサーレハ前大統領支持派と衝突(死傷者発生)しました。
- (105) 3月29日シャブワ県ベイハーンで、部族勢力との戦闘によりホーシー派民兵25名が

死亡しました。

(106)3月30日ホーシー派民兵がアビヤン県ジンジバルを制圧しました。

(107)3月30日ダーレア県ダーレア市で、ホーシー派の支援を受けた第33機甲師団(サーレハ前大統領派)が部族勢力と戦闘(約5人死亡)しました。

(108)3月30日ホーシー派民兵がアデン市を北部・東部方面から包囲し、人民委員会(ハーディ大統領派)と衝突(ホーシー派15人、人民委員会6人死亡)しました。

(109)3月29日マアリブ県及びベイダ県の県境に位置するカーニヤ地区で、部族勢力とホーシー派の激しい衝突が発生(多数のホーシー派民兵が死亡)しました。

(110)3月30日サアダ県カハザ地区で、ホーシー派民兵が第122歩兵旅団の基地を攻撃し、武器を強奪しました。

(111)3月30日ダーレア県ダーレア市で、人民委員会(ハーディ大統領派)とホーシー派の激しい衝突が発生(民間人6人、ホーシー派23人、人民委員会8人が死亡)しました。

(112)3月31日ホーシー派民兵が、バブ・エル・マンデブ海峡付近の第17旅団を制圧しました。

(113)3月31日ホーシー派民兵は人民委員会(ハーディ大統領派)との戦闘後、アデンのアリーシュ地区を制圧しました。

(114)3月31日シャブワ県ベイハーン郡で、ホーシー派民兵と人民委員会(ハーディ大統領派)の戦闘により10名が死亡しました。

(115)3月31日マアリブ県ハリーブ郡で、ホーシー派民兵とイスラーハ支持部族の衝突が発生(死傷者発生)しました。

(116)3月31日イエメン・サウジ国境の複数の地区で、サウジ軍とホーシー派民兵が砲弾やロケット弾を交えて戦闘がありました。

3. 空爆の状況

(1)3月26日未明、ハーディ大統領の要請を受けてサウジアラビア等有志連合軍がホーシー派拠点等に対する空爆を開始しました。

(2)3月27日、サヌアのダイラム空軍基地、スパーハ基地武器庫、ロケット基地武器庫、航空学校、防空施設、ノクム山の軍事施設、警護訓練学校およびサヌア以外では、マアリブ県ワディ・バナー油田近郊に所在するロケット砲発射台や監視レーダーを有する第49防空大隊基地、ホデイダ県サリーフ港の対空砲や防衛兵器、サアダ県へ空爆が実施されました。

(3)3月28日未明、サヌア市内で空爆が継続する中、市内が全面的に停電しました。ホーシー派は対空砲により反撃しました。

(4)3月28日、ホデイダ県の空港に対する空爆が実施されました。

(5)3月28日、サヌア市内の軍事施設への空爆が実施されました。

(6)3月30日サヌア市ファッジュ・アッターン地区で、軍事キャンプへの空爆により武器庫が破壊されました。

(7)3月30日ハッジヤ県ハラズ郡の国内避難民キャンプが空爆による被害(40人以上死亡)がありました。

(8)3月31日からサヌア県、サアダ県、タイズ県、ダーレア県、マアリブ県、イップ県、ホデイダ県、シャブワ県で空爆が行われました。

(9)3月31日イップ県ヤリームで、第55旅団ロケット基地を狙った空爆により周辺住宅地域に被害(14人死亡、42人負傷)がありました。

(10)3月31日ホデイダ県ホデイダ市の飲料工場に空爆被害(死者36人、負傷者80人以上)がありました。

(11)3月31日戦闘機及び戦艦がアデン県の複数の場所を攻撃し、ホーシー派民兵はアデン空港から撤退しました。